

没後20年

# 柳原義達展

みちしるべ

—彫刻の道標—



① 《道標・鴉》 1978年

2024年10月12日（土）から12月1日（日）まで  
三重県立美術館

## 展覧会について

<sup>からす</sup>鴉や<sup>どうひょう</sup>鳩をモチーフとした「道標」シリーズや「犬の唄」と題された女性立像などで知られる、戦後日本の具象彫刻界を代表する彫刻家・柳原義達（1910～2004）。三重県立美術館では、作家本人より主要作品と関連資料の寄贈を受けたことをきっかけとして、2003年に柳原義達記念館を開設し、以来、作品資料等を常時公開して柳原の顕彰に努めてまいりました。

本年は柳原の没後20年という節目の年にあたります。これを記念し、本展では通常作品を展示している柳原義達記念館に加え、企画展示室第4室を展示会場とし、館所蔵の代表作を一挙展示する特別展を開催します。また、柳原が制作に用いた素材や技法を読み解き、さまざまな側面から柳原義達とその作品について考え、創作の背景に迫ります。



② 《道標・鳩（長寿の鳩）》  
1981年

## 柳原義達について

1910（明治43）年、神戸市に生まれる。十代の頃は日本画家を志していたが、美術全集に掲載されていたブルデルの彫刻の図版に感銘を受け、彫刻家を志す。1931（昭和6）年に東京美術学校（現・東京藝術大学）彫刻科に入学し、学んだ。

戦後、40歳を過ぎてからフランスに留学し、ヨーロッパの新しい彫刻表現に触れ、約4年間彫刻を学び直した。1960年代半ばから、鳩や鴉を扱った「道標」シリーズを制作、独自の境地を開いた。戦後日本の具象彫刻界を代表する作家として高く評価され、現代に続く日本の彫刻表現に大きな影響を与えてきた。



## 展覧会の見どころ

### ✓犬の唄、道標シリーズなど代表作を一挙公開

片手を前に突き出したポーズが特徴的な女性立像「犬の唄」、生命の鼓動を感じさせる鳩や鴉を表した「道標」シリーズなど、柳原義達の代表作を一挙に紹介します。このほか、三重県立美術館が所蔵する初期から晩年までのブロンズ彫刻を一堂に展示し、柳原が挑み創り上げた彫刻の世界に迫ります。



③ 《犬の唄》 1961年

### ✓創作の軌跡を知る、デッサンや道具も展示

柳原義達は制作にあたって、膨大な数のデッサンを行いました。デッサンは、彫刻家が対象を捉え、空間を把握するために必要不可欠なものです。彫刻家の手と目の軌跡を示すデッサンの数々を紹介します。

また、柳原が実際に用いていたヘラなどの道具や回転台（回転機）等も資料として展示します。

### ✓彫刻家による実演映像も

ブロンズ彫刻は、作家が粘土で制作した作品を石膏や樹脂等で型取って原型を作り、その原型を元に作成した鋳型にブロンズを流し込み制作します。

一般的にはなじみの薄い塑像の制作工程を知っていただくために、彫刻家の藤原彩人氏による塑造、石膏取りの実演を映像化しました。

美術館では見ることの少ない、制作の裏側もあわせてご紹介します。



④ 《道標・鴉》 1980年

## 関連プログラム

### 彫刻ってムズカシイ？ そんなことはありません。

彫刻をより身近に感じ、より深く知るために、気鋭の彫刻家を講師に招いてワークショップとギャラリートークを開催します。

※手話通訳・要約筆記、その他支援をご希望の方は、2週間前までにご相談ください。

※ワークショップ①と②は事前のお申込みが必要です。美術館ウェブサイトの申込フォームよりお申込みください。希望者多数の場合は抽選となります。

#### ① ワorkshop「あるとないのあいだ」

彫刻の材料である粘土、石膏に触れ、かたちの反転など制作プロセスについて学びます。

なかに  
講師 中谷ミチコ（彫刻家、多摩美術大学准教授）

日時

11月9日（土）午後1時から4時 対象 5歳から8歳（保護者同伴）／定員8名

11月10日（日）午前10時から午後4時 ※途中昼食休憩あり

対象 小学3年生以上（小学生は保護者同伴）／定員8名

※各回内容は異なります。

参加費 無料

申込締切 10月25日（金）午後5時

#### ② ワorkshop「彫刻のためのデッサン会」

立方体ブロックにデッサンを描き、立体表現への理解を深める試みです。

はせがわ かんじ  
講師 長谷川寛示（彫刻家）

日時 11月16日（土）

午前の部（対象 小学生） 午前10時から12時 定員15名

午後の部（対象 中学生以上） 午後2時から4時 定員15名

参加費 無料

申込締切 11月1日（金）午後5時



イメージ図

#### ③ ギャラリートーク「彫刻家が語る柳原義達」

彫刻家として、また教育者として活躍する二人をゲストに招き、柳原義達の彫刻の見どころやその魅力についてお話をうかがいます。

ふじわら あやと 講師 藤原彩人（彫刻家、東京造形大学准教授）、おくたますみ 奥田真澄（彫刻家、三重大学教育学部教授）

日時 12月1日（日）午後2時から3時

会場 柳原義達記念館 ※展示室に入るため、柳原義達展観覧券が必要です。

## 展覧会概要

会期 2024年10月12日（土）から12月1日（日）まで

会場 三重県立美術館 柳原義達記念館+企画展示室第4室

開館時間 午前9時30分から午後5時（入館は午後4時30分まで）

休館日 毎週月曜日（ただし10月14日、11月4日は開館）、10月15日（火）、11月5日（火）

主催 三重県立美術館

助成 柳原操基金・柳原義達顕彰事業、公益財団法人三重県立美術館協力会

観覧料 一般700（600）円 学生500（400）円 高校生以下無料

（ ）内は20名以上の団体割引料金

同時開催「知っておきたい 三重県の江戸絵画」とのセット券（当日券のみ）

一般1,000円 学生800円

- ・この料金で、2階常設展示室「美術館のコレクション」もご覧いただけます。
- ・生徒、学生の方は生徒手帳、学生証等をご提示ください。
- ・障害者手帳等（アプリ含む）をお持ちの方および付き添いの方1名は観覧無料。
- ・教育活動の一環として県内学校（幼・小・中・高・特支）および相当施設が来館する場合、引率者も観覧無料（要申請）。
- ・毎月第3日曜の「家庭の日」（10月20日、11月17日）は団体割引料金でご覧いただけます。

## 広報用画像について

本プレスリリース掲載の①から④の画像を広報用に提供します。

ご希望の方は下記注意事項をお読みの上、ご連絡ください。ご希望の画像データをお送りしません。

- ・作品画像のご使用は、本展の広報目的の場合に限ります。本展覧会終了後は使用できません。
- ・作品画像への文字のせ、画像トリミングはご遠慮ください。
- ・掲載にあたっては、作家名、作品名、制作年を画像と一緒に記載してください。
- ・ウェブサイトに掲載する場合は、コピーガード（右クリック不可）をかけてください。コピーガード対応ができない場合には、72dpi 以下もしくは 400×400pixel の解像度でご掲載ください。
- ・画像データの広報目的以外の使用はできません。

## お問い合わせ

三重県立美術館 学芸普及課 原（企画）、高曾（広報）

TEL 059-227-2100（代表） FAX 059-223-0570

E-mail [bijutsu2@pref.mie.lg.jp](mailto:bijutsu2@pref.mie.lg.jp)

〒514-0007 三重県津市大谷町11

<https://www.bunka.pref.mie.lg.jp/art-museum/>